

ニュースリリース

ジェットスター・ジャパン 松山＝成田線 累積搭乗者数 200 万人を達成！

- 就航から約 9 年 4 ヶ月で 200 万人を達成
- 四国に就航する唯一の本邦 LCC として 1 日最大 3 往復 6 便を運航
- 今後も愛媛と首都圏を結ぶ懸け橋として地域交流・地域振興を促進



松山＝成田線の累積搭乗者数 200 万人達成を記念して松山空港にてギフトバッグを配布

ジェットスター・ジャパン株式会社(本社:千葉県成田市、代表取締役社長:片岡優)が運航する松山＝成田線の累積搭乗者数が、11月4日(金)に200万人を突破しました。2013年6月の就航から約9年4ヶ月での達成です。

松山＝成田線は、ジェットスター・ジャパンの国内13路線目として2013年6月11日(火)に就航し、現在、四国に就航する唯一の本邦LCCとして1日最大3往復6便を運航しています。就航当初より1日最大3往復を維持し、現在までの総フライト数は約14,000便にも上ります。年初からの定時運航率は93.8%と高い水準を維持しており、今後も安全運航を最優先として、運航品質の向上を図ります。

愛媛県と首都圏の往来を活性化しさらなる地域交流を図るべく、ジェットスターはこれまで数々の取り組みを実施してきました。愛媛県内の小学校高学年およびその保護者を対象とした親子航空

教室を過去 4 回実施し、これまで 40 組 80 人の親子が成田空港や近隣施設を訪れ業務風景などを見学しています。また、より気軽な空の旅を楽しんでもらえるよう、松山＝成田線を含め四国 3 路線で航空券を往復で購入した場合に復路を 459(しこく)円～から購入できる特別セールなどを実施しました。

ジェットスター・ジャパン代表取締役社長 片岡優は次のように述べています。

「就航から約 9 年 4 ヶ月で 200 万人以上のお客様にご利用いただきました。ご利用くださいましたお客様および関係各所皆様に心より感謝申し上げます。先月 11 日から開始となった全国旅行支援を追い風として、国内の航空・旅行需要がコロナ禍以前とほぼ同水準に戻りつつあります。ジェットスターにおいても、今月から関東圏から四国へ誘客するためのキャンペーン第三弾として、「四国サンカク旅キャンペーン」を実施しています。コロナ禍で遠ざかっていた気軽な空の旅を再びお楽しみいただけるよう、引き続き低運賃で安心・安全な空の旅を提供し、ひいては地域交流のさらなる活性化に貢献できるよう努力してまいります。」

ジェットスターは、「日本の空、世界の空を、もっと身近に。」をビジョンとして、今後も安心・安全を第一に、低運賃での移動を提供して地方創生に貢献してまいります。

ご参考

累積搭乗者数	達成日
100 万人	2017 年 6 月 4 日
200 万人	2022 年 11 月 4 日

【ジェットスター・ジャパンについて】

「日本の空、世界の空を、もっと身近に。」をビジョンとして掲げ、2012 年 7 月より日本国内線、2015 年 2 月からは国際線の運航を開始しました。現在、国内 14 都市・16 路線を運航。就航から累積 4,000 万人以上のお客様にご利用いただいています。ジェットスター・ジャパンには豪カンタスグループ、日本航空株式会社、東京センチュリー株式会社が出資しています。

<https://www.jetstar.com/jp/ja/home>